

**別表 支部・委員会の平成31年度事業計画**

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-6 シンポジウムの開催	茨城	講師を外部または会員に依頼し、登山と自然・山関連や海外登山等の講演会を開催して、山や自然への関心を高め会員の増加に努める。(4, 6, 9, 11, 1月に実施予定。一般参加者70人以上を目標)。
	栃木	「海外登山の集い」：栃木県山岳・スポーツクライミング連盟海外委員会の「海外登山の集い」に共催で参画する予定。12月に開催。講演と海外登山隊報告を実施し、異文化理解と登山活動の発展に寄与する。 「山の講演会」：年1回、6月に開催。一般参加者80名程度。安全登山や山岳文化活動の啓蒙を行う。今回で13回目となる。(一般財団)栃木県青年会館と共催、栃木県山岳・スポーツクライミング連盟の後援を得る予定。支部会員は企画・準備を行い、司会・会場整理などに補助員として参加する。
	埼玉	会員および一般登山者を対象とした安全登山普及活動としての講演会並びに講習会：2019年4月2日(火)、浦和コミュニティセンターにて「安全に山に登るためには」と題し、講師は埼玉支部の高妻潤一郎氏。 2019年春にウエスタ川越にて川越市事業・安全登山技術講座「歩いて健康」を3回開催する。講師は埼玉支部の平川陽一郎氏。 2019年5月22日(水)テーマは「山道具の話」、会場は未定、講師はICI石井スポーツ大宮店に依頼済、参加会員約30名。 2019年6月1日(土)「ハイキングレスキュー講習」、会場は飯能市市民会館及び天覧山周辺、講師は埼玉岳連遭難対策委員長の瀬藤武氏、会員10名 2019年10月26日(土)「山のファーストエイド講習」、会場は未定、講師は埼玉支部会員の恵秀彦氏、参加会員約10名。 2020年1月18日(土)「今年度の埼玉県内の山岳遭難事例と安全登山対策」、講師は埼玉県警山岳救助隊副隊長の工藤大介氏、参加会員約30名。
	富山	山岳講演会：山岳に関する安全、自然、文化の普及啓発を目的として講演会を実施する。2月19日(木曜日)に実施 一般参加者含め60名程度
	岐阜	山に関係する講師を招聘して、11月8日に長良川スポーツプラザにて山岳講演会実施。一般聴講者対象 演題・講演者は未定
	京都 滋賀	「山水会」講演活動：京都新聞および京都府・滋賀県山岳連盟の後援を得て登山活動、登山文化啓発のための講演会を実施。年3回程度、4月10月12月頃に「講演会」を実施。会員・一般を含め150名程度が参加見込み。支部会員は講演者、会場要員、補助員として参加。
	関西	9月29日に、六甲山ロックガーデン入口の藤木九三レリーフ前にて藤木九三を偲び、登山振興に繋げる祭事を行うと共に、記念山行を実施。大阪府山岳連盟・兵庫県山岳連盟共催で「山の日」事業として実施する。 11月に、山岳図書の著者の講演と懇談の「著者と語る会」を開催する。 「登山文化の伝承」活動：登山が他のスポーツに無い側面として持つ文化的行為を広範囲に捉え、これまで関西支部が実施してきた 文化的活動の幅を広げ、「登山文化の伝承」を継続実施する。次の5つのパートに分けて順次実施して行く。 1. 山岳書 2. 山岳画 3. 山の音楽 4. 山の民俗・宗教 5. 関西岳人伝
	福岡	「岳人のつどい」 山の映画会または講演会 新春に予定。
I-7 「山の日」事業プロジェクト	医療委員会	登山に関係する医療関係の講演会を開催し、一般の方へJACの活動を広報する機会にし、浸透を図る。 本部ルームでの登山の医療関係の講習会によって会員の啓発活動を行う。 会員と支部主催の登山教室受講生を対象として、山の医療の実地講習会を行い受講生のJAC入会を促進させる。
	北海道	山の日が施行され4年目であり、支部主催により記念事業として札幌近郊の山を対象にした家族を含めて実施。場所：札幌近郊の山(藻岩山など)。日時：8月11日。参加者 公募で30名程度 支部会員は事業運営のサポートとして20名程度(主催・公募)
	青森	「山の日親子登山」：毎年8月11日に実施する。青森県野辺地町烏帽子岳で親子登山を実施し、一般参加者へ安全登山の指導を行う。一般参加者予定40名

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-7 「山の日」事業プロジェクト	秋田	秋田県環境部自然保護課の山の日行事等に積極協力する。
	宮城	「山の日」に関連する事業として、9月に第35回東北北海道地区集会を支部主催、蔵王古道の会后援で実施する。講演会には蔵王古道の会会員をはじめ、開催場所である蔵王町からの参加者を募る。一般参加者は30名程度を予定。
	福島	「山の日・親子登山」8月11日「山の日」に支部主催の親子登山を実施する。募集方法は地方紙に働きかけて公募形式とし、20組100人の家族登山を目指す。（I-15にも重複記載）
	茨城	山の日制定により、以前に実施した茨城県山岳3団体による登山指導などの行事を本年度も計画し、茨城県への働きかけを含めて活動計画を進める。山岳3団体とは、茨城県山岳連盟、日本山岳会茨城支部、日本勤労者山岳連盟茨城県連盟。
	栃木	「山」の講演会：「I-6 シンポジウムの開催」に記載
	群馬	「山の日イベントin谷川岳」みなかみ町、県岳連、県労山、谷川岳エコツーリズム協会とともに、谷川岳周辺で実施。一般参加者には数コースに分かれて山を楽しんでもらい、群馬支部では例年通り、山麓の自然観察ハイキングを予定するほか稜線トレイルの一部コースの縦走登山、清水峠越えなどにもスタッフを派遣する予定。昨年の上記ハイキングには20人が参加。支部会員は本部役員、講師、スタッフとして参加。全体の一般参加は100人。
		「ぐんま山フェスタ2019」：6月の週末に2日間にわたり群馬県庁で開催予定（詳細日程未定）。昨年は一般参加者6000人以上。群馬支部として、上毛新聞社、県岳連、県労山と共催の形で参画。支部としては一般向けの講演や写真展、資料展示などを想定し、7000人以上の動員を見込む。
		「上州武尊スカイビュートレイル」：群馬県山岳連盟が実行委員会を構成する主要団体の一つとなっている前身の山田昇杯から続く伝統あるトレラン大会。9月に上州武尊山周辺で実施。運営に協力。
	千葉	房総半島郡界尾根踏査事業：平成26年度にスタートした房総半島の上総と安房の郡境踏査が平成30年度に終了したので、その記録集の編集・出版をおこなう。
	東京多摩	山の日関連事業：1. 山に親しむ日の普及と親子登山の普及を兼ねて5月26日、高尾599ミュージアムとの共催で「第4回高尾山親子森育ハイキング」を実施。一般参加親子公募。10組25名、参加支部員12名。 2. 一般登山者に対し安全登山啓発活動を行う。8月11日に奥多摩駅前等で安全登山啓発チラシ等配布。参加支部員10名。
	神奈川	記念講演会を一般公開で実施する。(1)神奈川大学体育会山岳部(団体会員)による活動報告。(2)外部講師による講演会
	越後	「山の日」に第3回糸魚川世界ジオパーク「子ども登山教室」を実施する。これまでの取り組みを継続し、小学生15程度を対象に、「山の日」8月11日(日)に糸魚川市白馬大池及び天狗の庭周辺で行う。支部会員が講師となり、自然観察や登山をとおして自然への興味と促し、山登りの楽しさを体験してもらう。取り組みのをとおして、スタッフや保護者を中心に日本山岳会入会勧誘を行う。 ※新潟県山岳協会と共催
	富山	山の日記念親子登山：山の日制定を記念して一般募集の親子登山を8月11日に実施する。場所は未定
	石川	山の日記念事業 「久弥祭」 深田久弥を愛する会と共催
山梨	山の日制定記念2019 第5回やまなし登山基礎講座 初級・中級登山者のための安全登山に関するリテラシー(知識・技術・判断力・遭難事故防止等危機管理)の向上、実践登山および山岳文化・芸術に関する登山講座。9月から8回程度の連続講座を夜間開催する。会場は共催の山梨学院生涯学習センター、今年度も若年層まで対象を広げ、一般受講生20名を見込む。支部会員は講師、スタッフとして10名参加予定。	
	山梨県甲府市で8月10,11日開催予定の第4回全国「山の日」記念大会に協力支援	
次頁に続く	信濃	地域での登山振興や関係団体との交流連携を図ると共に、開かれた支部活動を行う。 ①岳都松本山岳フォーラム(11月)の実行委員としてフォーラムの運営に参加する。 ②上高地開山祭や松本市海外都市交流委員会(カトマンズ、グリンデルワルド)への参加

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-7「山の日」事業プロジェクト	静岡	8月に親子登山を予定、地元紙に募集要項掲載依頼10組20名程度を予定（支部独自） 10月に県スポーツフェスティバル登山大会に県内山岳3団体とともに参加予定。県東部の山の予定。 11月に山岳4団体で第2回「南アルプス写真展」を静岡市民ギャラリーで実施予定。
	東海	①夏山フェスタの開催：6月に開催予定。集客目標8,000人。夏山フェスタ実行委員会開催主体、東海支部は企画、運営に協力（参加支部員 80名を予定） ②森の音楽祭の開催：10月26日開催を予定。森に親しみ、山の恵みに感謝するため、猿投の森にてオーケストラによる演奏を楽しむとともに、自然観察会を開催し、山・森に親しみ 山の恵みに感謝する機会とする。一般400名、学生80名、支部サポーター80名を予定。
	関西	毎年8月に「山の日講演会」を実施する。 11月に、子供を中心とした「わんぱく探検」を実施する。毎年11月に、山岳図書の著者の講演と懇談の「著者と語る会」を開催する。一部 1-15にも重複記載
	広島	「ひろしま「山の日」県民の集い事業」 「ひろしま『山の日』県民の集い」実行委員会の主要メンバーに、広島支部会員が当初から加わっており、官民一体で県下の自治体のほとんどが参加。第18回の平成31年は、広島支部が6月1日（土）「霧ヶ谷湿原 自然再生地」（下流部2.5ha）の保全活動を行う。6月2日（日）には、北広島会場でジュニアツリークライミング（参加予定 小学生50名）を行う予定。
	四国	「山の日」制定の趣旨を踏まえた一般市民党対象の講演会、若しくは登山愛好家等を対象とした安全登山確保に向けた知識と技術を学ぶための講演会などを開催する。「山の日」に県や他団体と連携し「親子で学ぶ安全登山」を開催する。参加予定は親子10組程度及び地元高校生10名程度
	福岡	山の日制定記念「夏山フェスタin福岡2019を開催。 6月22日・23日5,000人規模の大イベント
	北九州	「山の日」記念行事として「ふるさとの山・家族登山」を開催。風師山～矢筈山 100人参加予定
	熊本	山の日登山：山の日制定以降、県山岳連盟と共に毎年8月11日に実施。例年、県内高等学校山岳部の協力を得て、生徒による山の日宣言を行っている。昨年はいくまもんバッチを作成し好評を得た。本年度は、地震以降登山解禁となった阿蘇を予定している。当会参加者30名 山の日登山参加者300名を予定。
	東九州	「山の日」記念登山行事の実施：県内の主要山岳4団体の共催で実施する。
	山の日 事業 委員会	①『山の日』の意義を国民に周知させるための全国規模での記念事業の支援：山梨県甲府市で開催される第4回「山の日」記念全国大会（8月11日）への出席・協力 ②東京都内で開催される「山の日」フォーラム（3月開催予定）へのブース出展、協力 ③夏山フェスタ名古屋、夏山フェスタ福岡等への出席、協力。 ④「山の日」読本の編集・制作協力：全国山の日協議会が制作する「山の日」読本（フリーペーパー）への編集協力。「山の日」の意義とともに、日本山岳会の「山の日」への取り組みを周知させる記事を作成。「山の恩恵に感謝」のために「山に親しむ機会」を増進させるための記事製作を予定。 ④日本山岳会独自の『山の日』記念イベント 各支部の「山の日」関連事業を後方支援：「山の日」パンフレットの提供や、各地で開催されたイベントの情報提供等で支援を行なう。 各支部に対するアンケート調査で、それぞれの「山の日」活動を整理して公開する。 全国『山の日』協議会に対して法人会員として諸活動への参加・協力をしている。 地方自治体が主催する「山の日」関連イベントに対し、委員を派遣し協力している。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室・安全登山普及講習会の実施	青森	青森県高体連登山部へ登山事業に指導員を派遣予定。 八甲田山の日（7月7日）に支部会員を安全管理・補助役員として派遣予定。
	岩手	地図読み実習と自然観察会の実施：4月に一般参加者5名程度、地域の登山愛好者向けに秋田県境の貝吹岳にて残雪期の地図読み実習、及び自然観察会を実施する。支部会員（約10名）は指導者、補助員として参加する。
	宮城	「登山教室」：年2回、5月と11月に実施。一般参加者 各15名を予定。登山に関心のある一般県民を対象に、公募型登山教室を開催する。公募に当たっては地方紙を利用する。スタッフは会員がボランティアで当たる。 親子登山教室：年2回、6月と10月に実施。10家族程度の参加者を予定。登山に関心のある一般県民を対象に、公募型登山教室を開催する。公募に当たっては地方紙を利用する。スタッフは会員が担当。
	秋田	自然学習センター主催の太平山登山へ支部会員が協力をしている。（年5回程度小・中・高・一般など150名程度）
	福島	一般登山者を対象とした「フリークライミング講習会」を継続（本年度6回目）実施し、安全登山の普及と技術の向上を図る。 「ふるさとふれあい登山」支援：南会津町の行政区（旧田島町長野地区）が主催する「斉藤山ふれあい登山」を支援するため 福島支部が後援団体として現地に支部員を派遣、日本山岳会をアピールする。
	茨城	茨城支部としては、登山案内活動、筑波山周辺の自然観察会など、初心者向け登山教室への活動に向け計画を進める。
	栃木	ユース栃木「登山技術勉強会」：特別事業補助金を活用するユース栃木主催の登山技術・知識の勉強会（一昨年からの継続、3年目）。ユース栃木の事業を支援し、将来の支部活動のリーダー育成と会員増強を目的としている。 初年度は「雪崩勉強会」を開催。2年目は「読図とナビゲーション勉強会」を開催。支部会員は企画・準備を行い、司会・会場整理などに補助員として参加する。
	群馬	健康登山塾：群馬支部が主催し、一般ハイカーを対象に公募する今年で2年目となる登山教室。医学的な見地から山登りの体への影響を認識し、真の健康増進登山はどんなスタイルか、スポーツの専門家も加え、地元群馬の山々を歩きながら実践的に考える。赤城山を中心とした実地山行を4月から11月まで全7回実施予定。 「チャレンジキッズ」子ども登山体験。岳連が主催する群馬県内での子ども対象の登山体験イベント。年3～4回、冬山を含めて実施。谷川岳周辺での岩・沢登り体験やスノーシューハイクなど。主催の群馬県山岳連盟に協力 若い会員の入会を促進し、密度の濃い育成を図る。各回10人程度が参加。群馬支部からは各回1～3人がスタッフとして参加。 健康登山に関する事業：一般ハイカーを対象に公募する新事業。医学的な見地から山登りの体への影響を認識し、真の健康増進登山はどんなスタイルか、赤城山を中心とした実地山行を4月から11月まで全7回実施予定。
	埼玉	登山振興及び安全登山普及並びに支部活性化のため登山教室「第2期埼玉やま塾」を開催する。講師は埼玉支部会員の平川氏（登山ガイド有資格者）、講師補佐として埼玉支部会員が参加する。 初心登山者を対象に机上講習（座学：5,6,8月）及び実地講習（登山；6月大高取山、7月武甲山、9月谷川岳、10月雲取山）を実施予定
	東京多摩	登山教室運営：2年間のプログラムで、多摩地域に安全登山を目指す自立した登山愛好者を育成する。5～7月、立川市と共催で初心者向け登山講座を実施。30名。並行して（6～8月）多摩支部独自に初心者登山実習を実施。その修了生対象に初級登山教室（9月～翌々年3月迄）を実施。25名。初級登山教室修了時に入会促進を図る。今年度は、7期生と8期生が同時並行で学ぶ。参加支部員30名。 講演会開催：山岳、自然保護、安全登山に関する講演会を行い、一般の人に登山を知り、自然に親しみ、安全登山を啓発する。一般参加者公募。 7月、安全登山を啓発する講演会。一般参加者20名、支部会員25名。 10月、山岳に関する講演会。一般参加者100名、支部会員70名。 11月、自然保護を啓蒙する講演会。一般参加30名、支部会員30名。

次頁に続く

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室・安全登山普及講習会の実施	神奈川	救急法講習：救急法とアウトドアレスキュー講習会を一般公開で実施する。実習項目として、AED取り扱い、止血法、骨折対応、搬送法、熱中症の対応等
	越後	①「公募登山」第1回(6/23)要害山～朴坂山、第2回(8/24～25)上高地集会(美ヶ原、乗鞍岳)、第3回(10/20)大毛無山 を実施する。さらに、新企画として平日トレッキングを、第1回(4/25)長岡東山、第2回(10/10)籠町南葉山～猪野山南葉山 も実施する。地元新潟日報や石井スポーツ新潟店でポスター掲示により、一般参加者20名程度公募する。支部会員による山行企画と事前講習を行い、引率ガイドをしながら登山実技指導を行う。同時に、一般参加者の日本山岳会入会勧誘を行う。 ②県山協主催の登山講習会等に支部会員の講師派遣を行い、安全登山の普及に努めていく。
	富山	県教委及び富山市主催の集団登山指導者講習会・県民登山教室、富山市民登山・富山県山岳連盟主催の各種講習会、等に指導者を派遣して協力を継続している。
	石川	第5回白山親子登山教室 座学7月 登山8月 一般参加15名 支部員15名 座学日程は登山前月の一日を想定、山の楽しみ方・天候・歩き方・緊急時対応など支部会員により講義。登山は支部員サポートにて白山室堂泊1泊2日の予定とする。 「山の日記念 第5回秋山親子登山」：10月 一般参加10名 支部会員10名。参加者は白山親子登山に初回から4回までの参加者を優先とする。 I-7重複記載
	山梨	第5回やまなし登山基礎講座：I-7に記載 月例支部山行、雪山ステップアップ登山講座、親子登山教室（各公募） やまなし登山基礎講座修了生を主な対象者として一昨年度から実施してきた月例支部山行および昨年度新設した雪山ステップアップ登山講座を引き続き開催する。また親子登山教室を新設し開催する。 日帰りまたは1泊2日山行として、修了生以外にも参加者を増やし、JACのPRも兼ね賛同者の増加と、支部会員の増加を目指す。なお、山行委員会を中心に参加者の登山経験などの情報収集、山行計画、山岳保険の加入等十全な準備のうえ、開催する。各一般参加者5名、支部会員10名の予定。
	静岡	初心者対象に年3回を予定している。一般参加者各20名程度を予定。地元紙に募集要項掲載依頼、初心者の「登山力(知識、技術)」向上のため、支部会員の参加は一般参加者数を見て公益事業員を中心に10名前後でボランティアで対応する。車を出さなければならない場合は運転者に燃料代と若干の謝礼を支給する。
	東海	①登山学校の開校：平成29年7月に開校した東海支部の自主的運営による継続的運営（第3期は8月開校予定）。 未組織登山者への安全登山の啓発、支部の人材の確保と育成、支部活動の活性化を目的として運営。経験及び技量に合わせ初級、中級及び上級の3つのグループに分け、一年間の実践・学習を通して技術の習得を目指していただく。 毎月1回の現地山行に加えルームでの数回の座学を予定。生徒数は初級20人、中級30人、上級10人程度とする予定。生徒は支部友会員として扱い、支部主催の行事への参加も認める ②安全登山啓発のため、年間4回の講演会を開催。（技術向上委員会の活動） ③東海支部傘下の東海学生山岳連盟が主催するゴザフェス（御在所フェスティバル）への支援
	京都 滋賀	「安全登山講習会。」年8回実施 4月6月7月8月9月10月1月2月 一般参加者 10名程度。年間100名程度。地元の京都新聞の後援を得て、地域の登山者の為に実施。滋賀県山岳センターでの人工壁を使つての岩登り講習。机上での登山講習。比良山系での実地登山講習をおこなう。支部会員はボランティアで指導者3名、補助員10名がボランティアで参加予定。
	次頁に続く	関西

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室・安全登山普及講習会の実施 続き	四国	昨年に引き続き、愛媛県でフラワートレッキング講座を12回程度行う。内容は安全登山のための初歩的技術講習及び植物を中心とした自然観察である。1回あたりの受講生は10人程度を予定。講師は四国支部の会員が務める。
	熊本	「登山教室」年2回、春と秋に実施。会員・会友と一般参加者：各行事ごと定員45名、年間90名。春と秋の花鑑賞を兼ねた登山教室で、会員は班長やリーダーを担当する。 「登山研修会」夏と冬の2回、会員のリーダー研修と参加者の登山技術の研修を実施。各参加者：会員20名、一般20名。夏の沢登り、冬の雪山登山を通して、リーダー養成と参加者の登山技術向上を図る。それぞれ岩登講習会、冬山登山講習会を事前に開催し、その後沢登り、冬山登山を実施。
	東九州	「第7回登山入門教室」座学2回、実践講座4回の計6回の初心者向け登山教室を実施する。山登りの初心者を対象・教材、講師等全て会員と会員の手作りで実施する。(定員は30名程度)
	宮崎	「ときめき家族登山」：主に小学生とその家族を一般公募し登山・野外活動など自然体験活動を通して、自然を愛する感性豊かな子供の育成に努める。会員20名以上でこれに当たる。 「他山岳会と共催による事業」：宮崎県内の他山岳会と共催で山岳関連事業(山の日記念事業・山開き・登山技術講習会・山岳遭難事故対策・講演会など)に取り組み安全登山の振興に努める。
	家族登山普及委員会	家族登山教室を年7回程度開催して、安全な家族登山の普及を行う これまでに構築したサイトを通じて「山の日」の普及と、安全な家族登山の情報を提供する。
	YOUTH CLUB	「安全登山講習」の実施：毎月実施。一般参加者 年100名 日本山岳会ウェブサイトにて非会員向け講習会として募集。委員会会員はボランティアで指導者・補助員として参加している。交通費は支給。参加者に入会(会員・準会員)を勧め、若年～中年層の入会者増に貢献。 学生部主催でマラソン大会(50年継続)、クライミング大会、アイスクライミング講習会を毎年実施。各大学山岳部、WV部等から大勢の学生が参加。卒業後の入会を勧誘。委員会会員はボランティアで指導者・補助員として参加している。交通費を補助。
	遭難対策委員会	「山岳遭難防止セミナー」の実施：年2回、東京において、無雪期向け(7月)、積雪期向け(11月)に開催。一般参加者各回50名。年1回、支部において、安全登山を推進するためのセミナーを開催。講師は現場の各県警山岳救助隊などから招聘し、安全登山普及啓発を進める。 「安全登山講習会」の実施：年2回、6月と10月に開催。一般参加者各回30名。年2回、6月と10月に開催。一般参加者各回30名。他の委員会との共催、委員派遣等も含め調整する。
科学委員会	「安全登山ハンドブック冊子の編集」山での事故、遭難を防ぐための易しい解説冊子を作成するために、今年度は編集作業を中心に行う。イラスト・写真を多用。遭難対策委員会、医療委員会との協同の予定。	
I-11安全登山指導事業	北海道	事業当初(21年)は支部主催により、会員・会員外の技術力向上を目指していたが、NPO法人が主催(支部は協賛)する北海道雪崩講習会に一本化し、会員の参加を募る。内容<机上講習> 雪崩発生メカニズムから対処法・ビーコン使用によるレスキュー方法など<実地講習>雪質調査やレスキュー講習など。日時 平成31年12月中旬から平成32年2月中旬の3回程度。場所・札幌市内での雪崩理論・ビーコン操作などの机上講習会・道内山岳地域での実地講習。参加者 支部会員など10名程度(共催・公募)
	青森	八甲田山スキーコースに地域関係者と共に遭難防止用の誘導竹竿を設置する。年2回2月と3月に実施 一般参加者60名。
次頁に続く	山陰	公民館活動に協力して地域の登山愛好家20人～30人で里山登山を年3回計画し、登山指導と安全管理を行う。 大山冬山パトロール：冬山遭難防止対策として、鳥取県警と合同で大山冬山安全指導の為、冬山パトロールを実施する。大山寺から夏山登山道を経由し、頂上往復して安全登山を呼びかける。会員3～4名を派遣。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-11安全登山指導事業	熊本	年度末にその年の干支の山を登山。一般募集も実施、定員40名。20年以上毎年実施している行事で会員外の参加者も多い。31年度は子のつく山を計画。
	YOUTH CLUB	「雪崩遭難防止技術研究」：日本山岳会AvSAR研究会を発足させ、日本雪崩捜索救助協議会（AvSAR）の上級研修にユースクラブのメンバーを参加させて崩事故防止の高度な知見と技術を習得することにより、広く一般登山者に雪崩事故防止の知見と技術を普及する講習を実施する。
I-12身体障がい者支援登山	茨城	「茨城県 自閉症協会 支援登山キャンプ活動」年1回、7月～8月頃に、自閉症者とその家族30名前後と共に、茨城支部は茨城県自閉症協会主催の自閉症者登山キャンプ活動に協力し、支部会員指導による夏山登山を実施している
	埼玉	「大久保春美記念・障がい者とのふれあい登山」。平成31年4月7日（日）に一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会との共同主催で実施する。今回で9回目となる「ふれあい登山」は、「大久保春美記念・ふれあい登山」と名称を変更し、入間市の加治丘陵（金子駅から歩く）を予定している参加者は、障がい者（坂道の上下りが可能であるという条件）とその家族、支援者、埼玉県障害者スポーツ協会職員（参加者約60名）および日本山岳会埼玉支部会員（参加者約30名）を予定している。
	東海	① 視覚障がい者支援登山、春と秋の2回開催を予定、参加者累計年間125人（障害対象者：年35人、一般サポーター年20人、支部員サポーター：年70人） ② 知的障がい児支援登山（スペシャル・オリムピックス・愛知日本と協働）、10月開催を予定、参加者70人（障がい児10人、SON愛知20人、支部サポーター30人） ③ 視覚障がい者支援登山（ひまわり登山）、年3回、参加者年30人（障がい者6人、支部サポーター24人）
	熊本	知的障がい者対象支援「登山教室」：8月里山を中心に知的障がい者とその保護者を対象に実施。参加者：会員25名障がい者15名、保護者20名。NPO法人スペシャルアスリート熊本と共催で知的障がい者とその保護者を会員の引率で登山を実施。
I-13少年補導委託登山	東海	試験観察中少年支援登山（名古屋家庭裁判所と協働）、年1回開催 参加者20人（少年5名、裁判所サポーター5名、支部10名）
	北九州	家庭裁判所が行う短期補導委託（登山）：5月・11月に風師山～矢筈山登山をサポートする（総勢16人位・支部員8人）
	宮崎	宮崎家庭裁判所から委託を受けている少年の補導登山を裁判官・調査官・友の会・保護者と共に会員約15名で実施する。
I-14海外交流事業	北海道	海外登山調査研究 2020年の支部創設55周年の海外登山の実現に向けて、調査研究を進める。2019年度は、プレ55周年記念として中央アジアなどを対象に調査研究と事前調査のための海外登山を行う。（主催・支部関係者）
I-15 幼稚園児から中学生までの体験登山	北海道	子供サマーキャンプ：支部主催により、第20回目を迎えるが、支部サポート体制の高齢化などから、コンセプトやカリキュラムの内容（ツリークライミングや周辺の登山、キャンプファイヤーなど）を見直し、実施する。場所 日高町・国立日高青少年自然の家からまつキャンプ場。日時 平成31年7月末から8月初めの2泊3日。
	宮城	・仙台市内の小学校の登山事業に、ボランティアとして複数名派遣予定。 ・オーエンス泉ヶ岳ふれあい館（仙台市教育委員会）の登山ボランティア制度に登録し、年複数回、複数名派遣協力する予定
	山形	「学校から見える山」イラストプレゼント」：平成28から30年度は本部からの特別補助事業として実施してきたが、31年度は独自の予算での実施を計画している。対象地域は置賜地域とし、展望図や鳥瞰図を作成し、これに山の名前の由来、山の植生、登山等山を中心とした自然景観を含めた解説文を付けて、山の日に合わせて子供たちに贈呈する計画である。
次頁に続く	福島	「山の日・親子登山」 I-7に重複記載
	栃木	「親子登山教室」を夏休みに実施。栃木県教育委員会、日光市教育委員会、栃木県山岳・スポーツクライミング連盟の後援を得る予定。大自然に触れながら、親子の絆を深め、他人と協働しながら青少年の人格育成の一助とする。参加人員は30名程度の見込み。支部会員は指導者・補助員として参加する。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
	千葉	継続事業として、児童養護施設 社会福祉法人「春香園」の課外活動を、自然に親しみ、安全に登山する目的で引率。年2～3回。児童・職員 約10名。支部会員はボランティアで指導者・補助員として参加予定。 「親子登山の実施：28年度に初めて実施した「親子登山」を4回目の継続事業として実施予定。茂原市子どもセンター主催、千葉支部共催、茂原市教育委員会後援。親子15組程度。支部会員は、指導者・補助員として5名程度参加予定。 12月に実施。
	東京多摩	くにたち第4小学校高尾山登山支援：10月、地区育成会が実施する高尾山登山を支援する。参加30名（児童、教諭、育成会）。参加支部員8名。
	越後	糸魚川ジオパーク「子ども登山教室」：山の日事業として、I-7 山の日欄に記載。
	石川	第四回白山親子登山教室： 第三回秋山親子登山 10月 一般参加10名 支部会員10名。参加者は白山親子登山に初回から3回までの参加者を優先とする。支部員はボランティアとしてサポートする。 I-9に重複記載
	東海	親と子のふれあい登山（自由が丘幼稚園）、10月と11月2回に分けて開催、参加者250人（親子 200人、幼稚園サポーター20人、支部サポーター30人）
	京都滋賀	国民の祝日「山の日」に関連する事業として、京都新聞社・地元教育委員会の後援を得て、8月に丹波の山々で「親子登山」実施する。支部会員は指導者、補助員としてボランティアで参加。
	関西	「山の日」関連事業として毎年11月に、子供を中心とした「わんぱく探検」を実施する。I-7「山の日」欄に記載
	北九州	さいわい幼稚園の園児の遠足登山サポート：①. 3月14日：卒園児の矢筈山ディキャンプ支援（総勢50人・支部員8人） ②. 5月は2日間にわたり風師山への遠足登山サポート（年少組40人と年長組40人・支部員8人） 延永小学校研修登山サポート：10月英彦山登山（小学5年生2クラス60人・支部員6人）
	東九州	「第18回青少年体験登山大会」 初心者に山登りの楽しさ、面白さを体験してもらい、登山の普及につなげていくことを目的に青少年をはじめ、一般の初心者を対象に体験登山大会を実施する。（過去17回実施、参加者は毎年50名から60名程度）
	宮崎	「ときめき家族登山」：夏休み期間中、主に小学生を対象に家族約25組を一般公募して、登山・野外活動など自然体験活動を通して自然を愛する感性豊かな子供の育成に努める。会員20名以上でこれに当たる。I-9と重複記載
I-16登山道整備     次頁に続く	北海道	北海道山岳9団体構成の「美瑛富士トイレ管理連絡会」のメンバーと連携し、以下の事業を実施。 ①山のトイレ整備～美瑛岳の山小屋周辺の携帯簡易トイレの管理とキャンプ場周辺の環境整備。
	青森	「八甲田山登山道整備ボランティア」青森県観光国際戦略局観光企画課の要請を受け、北八甲田山系で登山道維持ボランティアとして、7月から9月の期間に登山道の整備を行う。一般参加者延べ180名。
	岩手	環境保全活動の実施：6月に一般参加者5名程度、南八幡平自然休養林に位置する平ヶ倉山へのルート踏査、登山道の整備活動を実施する。支部会員（約10名）はボランティアで指導者、補助員として参加する。
	秋田	「太平山歩道整備」：年1回 11月に実施。太平山歩道の刈り払い、案内板やベンチ等の補修・設置を行う。支部会員はボランティアで指導者、補助員として参加予定。 「太平山山開き清掃登山」： 毎年6月第2日曜日に実施の際にリーダー派遣をし協力。支部会員10名程度、秋田市地区からの参加者は50名程度を見込む。
	山形	「清掃登山」を実施予定。平成30年度は、春季に旧朝日村ヤチハバ高層湿原での清掃登山を計画した。対象は会員、家族、知人等併せて20名程度とする。
	福島	年3回（6月、7月、9月）荒廃している登山道の整備・復元作業を実施。特に県山岳連盟傘下の地元山岳会に働きかけて、幅広い参加を募る。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-16登山道整備	栃木	「那須岳クリーンキャンペーン」栃木県山岳・スポーツクライミング連盟と共催で、那須岳周辺の登山道整備と清掃を行い、山岳環境の保全に努める。9月第1日曜日に実施。一般参加者200名程度。 「日光山系清掃登山」を実施し、山岳環境の保全に努めている。7月に実施。一般参加者200名。栃木県山岳・スポーツクライミング連盟と共催で、日光山系の清掃登山を行い、山岳環境の保全に努める。
	埼玉	2019年4月14日（土）、総会記念山行として実施する小野子山（群馬県）登山時に山の清掃活動を実施、参加会員20～30名。 2019年4月29（土）～30（日）、高尾グリーンセンター登山道整備及び森づくり研修会
	東京多摩	東京都レンジャーとの協働作業で登山者の安全と登山道の拡幅・荒廃防止を目的とした登山道整備・清掃を行う。雲取山石尾根の石積み作業による登山道複線化の防止。5～6月。参加支部員6名
	越後	清掃登山や弥彦山雪割草パトロールを行い、山岳自然環境の整備に協力する。
	富山	「高頭山」登山道整備（年1回、播磨祭記念登山に先立ち、5月26日（日曜日）に実施。支部会員が登山道整備を行う）。
	石川	「登山道整備活動」 1、火燈山 火燈古道 5月第四土曜日 支部員10名参加予定。 2、犀浅みくまり道 6月第四土曜日 支部会員10名予定。 3、杉峠登山道 9月第四土曜日 支部員10名参加予定。
	信濃	徳本峠の登山道整備。松本市、徳本小屋など関係団体と連携し、徳本峠越え登山道の整備保全を行う。
	岐阜	金華山（岐阜市）山麓の小径修復に 3名派遣 山岳パトロール：岐阜森林管理署内のパトロール（森林保全巡視・環境美化）。会員登録者が国有林を7名 平成29年～平成32年3
	静岡	11月から3月頃、安倍東山稜の山で主に倒木の処理を行う。登山道を点検しながら適宜少人数で行う。
	東海	山岳環境保全事業として登山道清掃（HATJと協働）
	関西	「東お多福山草原再生・保全研究会」に参画し、六甲山東お多福山ススキ草原復元の協業活動を保全・整備活動を年7回以上行う。環境省近畿地方事務所関連の「大台ヶ原の利用に関する協議会」に関係者として参加し、環境保護と利用について活動する。やまみち保全巡視活動、自然観察会、森林観察会を行う。
	山陰	大山隠岐国立公園協会として登山道、看板、環境対策等に若手会員が2～3名参加。 大山山頂の山小屋トイレの汚泥をキャリアダウンのボランティア活動に参加。
	広島	聖山山頂付近の景観回復及び環境整備。高岳山頂付近の環境整備参加。 中央分水嶺の登山道整備：平成30年11月に引き続いて中央分水嶺（聖別れ～奥匹見峡分岐）の登山道の整備を計画。倒木撤去などの作業に対し、会員参加30名を予定。
	四国	葛籠～夫婦池～剣山見ノ越に至る剣山古道の復活に向けた調査を実施する。 国定公園内等においてNPO法人との連携により登山道整備や清掃活動を2回程度実施する。 三嶺登山道（菅生登山口）周辺の美化のため、放置間伐材等の収集整理を行う。
	北九州	英彦山清掃登山：5月12日に実施予定。約70人の参加見込み（支部員30人参加）。添田町観光課、地域山岳会等と連携のうえ実施。 英彦山バイオトイレ清掃活動。英彦山山頂のトイレ掃除を担当、年10回ほど実施している。（支部員参加者5人／回）
	福岡	ふるさとの山清掃登山（山のトイレ協議会として）
東九州	登山者の多い九重山の登山道を毎年場所を変えて選定し、清掃登山を実施する。	
宮崎	宮崎市近郊の山を中心に登山道整備・清掃等を実施する。	
I-17山岳自然観察会の実施	秋田	秋田市仁別植物園の来園者に植物、樹木等の説明や自然観察会等を実施。年7回程度 ・自然学習センター主催の太平山登山や自然観察会へ支部会員がボランティア協力する。（年5回程度、小・中・高・一般など15 ・太平山観光開発が主催する自然観察会等に支部会員がボランティアで協力する。（年3回、80名程度）

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-17山岳 自然観察会の 実施	埼玉	2019年5月25（土）～26（日）、玉原高原ブナ林・湿原観察会 2019年7月6（土）～7（日）、自然保護全国集会をさいたま市（埼玉支部）で開催 2019年9月29日（日）、埼玉県緑自然課主催による森づくり及び観察会（さいたま緑の博物館） 2019年10月27日（日）、越生町教育委員会後援による第7回大高取山自然観察会、参加会員20名。 2020年1月、日時及び会場未定、第7回シンポジウム「埼玉の自然」を開催予定
	千葉	「自然観察会の実施」：10月～3月ごろにかけて、房総の山の自然を観察しながら歩く。地域の自然愛好者向けに一般公募とする。一般参加者10名程度。支部会員はスタッフとして参加者の支援を行う。
	東京多摩	地域の自然環境に触れ親しんでもらうため、地域山域内での自然観察会を実施。一般公募。 ①8月、御岳山レンゲショウマ観察会 公募参加者：30名 参加支部員：10名 ②12月～1月、高尾山シモバシラ観察会 公募参加者：20名 参加支部員：10名
	東海	猿投の森での自然観察会の実施、毎月第3土曜日 一般対象 参加者数「一回当たり」： 一般15名、支部員3名
	山陰	大山山頂に生息するヒメボタルの生態観察。
	熊本	山野草観察：「登山教室」の中で実施。I-9に記載。
II-2山岳図 書館の運営事 業	神奈川	かながわ山岳誌プロジェクト：神奈川県支部設立を記念し、5年計画で神奈川県下の2.5万分の1の地形図に記載された山名と峠及び登山対象となるピークのすべてに登って日本山岳誌の神奈川県版を作成し、それらの情報提供などを通して社会へ貢献する。（7,8月を除き、月2回山行） 一部の踏査コースを対象に、一般向け公募山行を実施する。
	越後	広報誌「越後支部報」を年3回発行し、登山及び自然保護の啓蒙指導を行う。
	山陰	「雲伯の百名山(仮称)」の発刊。山陰の出雲、伯耆地方の山々から100座を設定し、神話や古事記の歴史に絡め踏査して、紹介する。 2019年の山陰支部創立70周年記念事業の一環として発刊予定。
	図書委員会	「山岳図書を語る夕べ」「山岳史懇談会」などの講演会の開催。※できるだけ多くの会員が興味を持てるようなテーマを取り上げるとともに、失われつつある 日本山岳会のよき伝統にも題材を求める 「図書交換会」の開催 ※首都圏だけではなく地方の会員も参加できるような場として年次晩餐会に付随して行う予定。 120周年の一環としてのに新々日本山岳誌、日本山岳会20年史、デジタル化の企画と検討を行う
III-1森づく り活動	青森	「白神山地ブナ林再生事業」を津軽森林管理署と協力して実施（6月、9月に一般の協力を得て実施。一般参加者約30名程度）。
	福井	福井県越前町旧糸生中学校隣の山林にて、①花壇の整備、②草刈り、③池に繁殖したガマの除去。④遊歩道の整備、⑤作業に関する道具や材料を収納出来る小屋の建設 など4月～11月の間、毎月1回作業を行う。（毎回7～8名の参加） ⑥雑木の伐採と植林
	岐阜	「権現の森林づくり」岐阜県林政部治山課との協働による森林づくりを実施。4/14～11/24まで全15回予定 会員・会友・一般参加。 活動場所：岐阜県揖斐郡揖斐川町藤橋地内。 支部会員は、ボランティアで指導者・補助員として参加している。今年度のテーマは①専門家による安全管理と樹木の枝切り指導を受ける ②防獣ネット垂れ下がり支柱取付作業 ③植栽木の生育状況の継続調査、登山道の補修整備 ④活着しなかった植樹の植替え(苗を森林組合から購入)
東海	「猿投の森づくり活動」（市民の森林体験のための整備、森の幼稚園、森の音楽祭の実施。） ①愛知県有林「やまじの森」での森づくり活動-猿投の森整備基本計画をベースとし、保健保安林・土砂流失防備保安林として整備を図りながら、既設遊歩道などの維持・水保全・生物多様性等環境機能の向上を目指す。②東大演習林での間伐作業③JAC所有地山桜フィールド-森づくりや森の恵みを楽しむ基地として整備する。 作業活動：毎月2回の定例作業に加え年間数回の臨時作業。 自然保護委員会の活動：環境省事業モニタリング1000調査-山桜フィールドに於いて5月～11月実施	
次頁に続く		

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅲ—1 森づくり活動	京都 滋賀	「森づくり等の緑化事業支援活動」：4月～11月に滋賀県比良山系「ダング坊遺跡」の登山路整備と緑化支援活動。年6回程度活動。会員・一般160名が参加見込み。 滋賀県大津市「結の森（藤尾の森）」での森林保全活動。毎月2回実施。会員・一般を含め年150名が参加見込み。支部会員は指導者、補助員としてボランティアで参加。
	関西	大阪府高槻市の「日本山岳会関西支部本山寺山の森」で、社会貢献の森活動による森づくり活動を行う。近畿中国森林管理局長と協定（2015年4月～2020年3月）締結。関西支部管轄の活動団体「本山寺山森林づくりの会」で、森林の保全、整備活動を月2回以上行う。「関西支部自然保護委員の委員会」を定期的に開催、「本山寺山森林づくりの会」の理事会・総会を開催する。
	山陰	「大山横手道ブナを育成する会」に参加して植林、伐採作業に会員約10人程度派遣して参加する。
	宮崎	「水源の森づくり」宮崎支部が広葉樹などを植樹している田野の森(宮崎市)・野尻の森(小林市)・ロキシヒル(西都市)の総1.1ヘクタールの下草払い・枝うちなどを延べ40名で実施する。 県内の登山道の多くが国有林に属していることから、会員の十数名を国有林森林保全巡視員に登録し、山行に際して、樹木を中心に観察し異常等が確認されれば宮崎森林管理署に報告する。
	高尾の森づくりの会	東京都八王子市裏高尾の小下沢国有林にて除間伐、下刈り、植樹、作業道の補修など森林整備作業を、毎月主宰し、会員ボランティアで実施する。また間伐材を利用した木工並びに親子森林体験スクールなどの普及啓発活動を併せて実施し、年間延べ2,000名の参加を予定する。 「木下沢都有林の森づくり活動」東京都八王子市裏高尾の木下沢国有林において、除間伐、作業道の補修などの森林整備作業を毎月1回主催し会員ボランティアで実施する。また、学童を対象とした自然教育活動において、植樹を実施する予定で、年間延べ300名の参加を予定している。 「三宅島緑化再生活動」三宅島の火山災害跡地の緑化再生活動を昨年継いで主催し実施する。5月と10月に三宅島へ赴き、植樹や道（遊歩道）づくりなどの作業をボランティアで行う。一般募集者を含め各回15名（延べ90人日）の参加を予定している。
Ⅲ—2 山岳環境保全活動	北海道	北海道生活環境部の生物多様性保全事業「大雪山高山植物盗掘防止監視業務」を受託。6月～10月に大雪山国立公園内でのパトロール業務に協力。（自治体の委託事業 支部関係者のべ100名程度の参加）
	宮城	支部会員等が行う登山活動を通じ、山岳人として自然保護の大切さを認識し、登山中のごみ拾いや、様々な機会をとらえて自然保護の重要性についての啓発活動を実施する。また、荒れた登山道などについて関係する機関に通知するとともに可能な範囲で補修整備に努める。更に、国、県から委嘱されている指導員を中心に適切な指導及び巡視に努め山岳環境の保全寄与する。
	山形	「地蔵岳害虫被害調査」：蔵王地蔵岳山頂付近で発生している害虫被害の実態を調査する計画である。時期は初夏とし、参加者は支部会員を中心に15名程度を見込んでいます。
	群馬	「上州武尊スカイビュートレイル」群馬県山岳連盟が実行委員会を構成する主要団体の一つとなっている、前身の山田昇杯から続く伝統あるトレラン大会。9月に上州武尊山周辺で実施。群馬支部からは岳連役員を兼務する会員が本部役員を努めるほか、スタッフとして数名が参加し運営に協力。
	東京 多摩	三ツ峠山アツモリソウ保護活動：6月下旬、三ツ峠山荘主人（東京多摩支部会員）の指導で除草作業を実施。参加支部員12名。今年は、本部自然保護委員会と合同で実施。 身近な水環境の全国一斉調査に参加。6月、多摩川・秋川合流点付近の水質調査実施。参加支部員4名。
	山梨	自然保護活動の一環である山梨県山岳レインジャー活動（山梨県委託事業）として4～9月南アルプス・八ヶ岳ほかの高山動植物調査
次頁に続く	信濃	①信州豊かな環境づくり県民会議（長野県）の会員として環境保全のPR等の啓発活動を行う。②高山植物等保護対策協議会（林野庁）への参加。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅲ-2 山岳 環境保全活動	静岡	南アルプスの高山植物保護活動事業：県ボランティアネットワークの呼びかけに応じて、ネットワーク登録会員が防鹿ネットの補修、裸地での植生回復作業を行う。茶臼小屋周辺、聖平、三伏峠、塩見岳東峰東側など。7月～10月
	東海	環境省調査事業であるモニタリング1000に参加し森の生物調査（自然保護委員会担当）
	山陰	「大山山頂山小屋トイレ汚泥キャリーダウン」参加協力する。
	広島	八幡高原霧ヶ谷湿原保全活動：同湿原は平成19年から21年にかけて自然再生法に基づき全国で10番目の事業として湿原再生工事が行われた。この事業は、その環境条件の整備を通して、自然の回復力で湿原植生への遷移を図ることを目指しているが、導水路からの水の供給が少なく乾燥する場所に於いては、湿地性の中低木が成長し森林遷移が進むため、人為的な伐採・除去作業が必要となっている。広島支部では平成23年から継続的にこの霧ヶ谷湿原保全活動に取り組んでおり、広島支部の主体的な公益事業として関係団体と協力し実施する計画。自然再生地（下流部2.5ha・上流部1ha）」の保全活動を行う。会員参加40名を予定。
	北九州	九州森林管理局より受託している森林保全巡視活動を1年間通じて、受託した15名の巡視委員が各山域で実施するとともに、年2回、一斉巡視活動を行う。
	熊本	年2回春と秋に実施。森林管理局からの委託された森林監視員を中心とする会員で熊本県内の登山道の保全と清掃を実施。参加者会員15名
	東九州	平成25年から続けている祖母・傾山系のスズタケ枯死とシカの食害実態調査を、大分県植物研究会との共同作業で実施する。6月と10月の年二回、定点観測と地点移動観測の調査で実施。
	自然保護委員会	「写真が語る山の自然：山岳写真データベース」山岳会会員や一般から過去の山岳写真を集め、現在の写真とを比べて山の自然環境がどう変わってきたかを調べるためのデータベース。一般の登山者や研究者が利用者として見込まれる。 「機関誌 木の目草の芽」発行：年6回発行。環境省、林野庁、自然保護団体、新聞社、大学関係者に贈呈、購読希望者に配布。内容はJAC会員や外部の自然保護関係者の寄稿、委員会活動の案内、報告など。 自然観察会の開催。講演会の開催。自然保護活動開催。アツモリソウ、ライチョウ等の保護活動
他1-1 会員を対象 に登山活動 を指導する	東海	原則40歳以下の向上心のある登山初心者を対象。在籍は2年。以後は支部正会員となり、青年部などでの活動を勧める。在籍者は現在19名。月1～2回の定例山行を予定。
	山行委員会	「救急救助講習会」の実施。6月に実施予定。会員外にも参加を呼び掛ける。会員のため登山を実施(年5～8回程度)。 <国内外の各種山行の企画・実施>当委員会の使命を踏まえ、会員のニーズに応える各種山行等を企画、実施する。「安全に楽しく、全国の仲間と一緒に、憧れの山に登ろう」が、実施のコンセプトである。年間13回程度の山行等を実施予定。
	支部事業委員会	指導者養成講習会の実施：1、支部へ講師を派遣し実施指導者養成と安全教育講習会を実施。2、安藤百福センターを利用して講習会(実技・座学)の実施。 全国支部懇談会の開催支援：2019年度栃木・2020年度宮崎・2021年度東海各支部予定 特別支部事業補助金(会員増強,若手リーダーの育成,山の日支援)：支部からの応募を受け事業内容を審査し理事会に報告する。
他1-2文化 活動支援  次頁に続く	越後	第62回高頭祭：第62回高頭祭：(兼弥彦松明登山祭)「山の日」制定記念事業として、7月25日に高頭祭を実施する。支部会員70名・一般参加者30名を目標として、広く参加を呼びかける。越後支部主催により、弥彦山大平園地の高頭仁兵衛(第2代会長)寿像前で開催する。毎年来賓として、日本山岳会本部の幹部から参加を予定し、記念講演も行っている。その後支部会員で清掃登山を行い、弥彦山頂へ移動、山頂奥の院で安全登山祈願祭を行う。夕刻より松明登山祭に参加し、山頂から弥彦神社を經由し、弥彦駅まで市中行進する。
	富山	「第34回播隆祭」および高頭山記念登山：6月2日(日曜日)に実施 一般参加者40名程度。富山市旧河内村の播隆上人頭頌碑前にて、上人の業績顕彰のための式典及び高頭山記念登山を実施。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
他1-2文化 活動支援	福井	泰澄祭：泰澄塾との共催。5月26日（日）一般公募100名～120名・支部会員10名程度の参加予定。小川登山口から越知山へ、行者道を山頂に向けて登山をし、室堂に戻り、越知神社に於いて神事を行う。その後参加者に泰澄汁を振る舞い、昼食をしながら野外コンサートを観賞する。
	山梨	第2回田部祭：奥秩父の開拓者である田部重治の遺徳を偲ぶ碑前祭と西沢溪谷周辺の記念登山。奥秩父の開拓者である田部重治の遺徳を偲ぶ碑前祭と西沢溪谷周辺の記念登山。山梨市笛吹支 所主催、支部は協賛とし協力支援。5月26日（日）を予定、下記木暮祭との連携のもと、笛吹川源流、西沢・東沢溪谷入口で実施する。一般参加者50名の見込み。支部会員10名参加予定。 第60回木暮祭：上記の田部重治とともに奥秩父の開拓者であり、当会第3代会長である木暮理太郎の遺徳を偲ぶ碑前祭と瑞牆山・金峰山麓の五里山・向山記念登山。地元山梨県北杜市の協力支援のもと、当支部が主管する。主催は木暮碑委員会（構成団体は当支部・山梨県山岳連盟・増富ラジウム峡観光協会）。10月19日（土）前夜祭、20日（日）記念登山・碑前祭、一般参加者50名、支部会員20名参加の予定。 第39回深田祭：4月21日（日）深田久弥を偲ぶ碑前祭と茅ヶ岳記念登山、主催は韮崎市観光協会
	信濃	第72回ウエストーン祭の開催 本部主催/支部主幹 6月3日。ウエストーン師の功績を偲び、山の安全を祈願すると共に記念講演を通じて、登山の振興と環境保全等の啓発を行う。前日2日には徳本峠越えの記念山行を行い、ウエストーン師をはじめとする 先人達の足跡に思いを馳せる。この記念山行は、会員や一般参加者をはじめ、地域の公民館活動と連携し、次世代を担う子供達やその家族も参加する。
	岐阜	山岳写真展 平成31年12/2～12/28 場所未定。 平成32 2/3～2/15 JR岐阜駅 ハートフルスクエア-G1階
	京都滋賀	京都「今西錦司賞」を設立。登山文化に寄与した者への顕彰をおこなっている。
	四国	4月6日（土）、高松市峰山公園内にて「小島烏水祭」を開催する。顕彰碑前にて碑前祭を実施し、登山愛好家及び一般市民に対する小島烏水の紹介を通して登山振興を図る。参加見込みは80人程度。
	北九州	「第3回楨有恒祭」： 10月20日 風師山 楨有恒 記念碑前にて実施する。約30人
	熊本	会員会友が山で撮った写真を一般公開する「山の写真展」。12月実施
	宮崎	「第35回宮崎ウエストーン祭」11月3日（文化の日）に高千穂町と共催で実施する。参加予定者は約170名（一般90名）・地元小学生（20名）・日本山岳会会員60名（宮崎支部20名）の参加を得て実施する。式典の後、地元村おこし協議会主催の安全祈願祭および芸能大会に参加し、地元の人々および日本山岳会九州5支部会員との交流及び親睦を図り登山の振興に努める。
他1-3	総務委員会	会員向けに、日本山岳会のマーク入りグッズを製作し販売。
他1-5	会報編集委員会	会報「山」のNo.887～No.898を発行する